

部局名	健康福祉部	所属名	国保年金課	所属長名	山口 清孝	電 話	483-1151 内線3150
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9010		事務事業名称		医療費適正化特別対策事業					短縮コード		経常		臨時	9010	
予算区分	会計	10	国民健康保険事業特別会計		款	01	総務費		項	04	特別対策事業費		目	01	医療費適正化特別対策事業費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		国民健康保険法									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
診療報酬明細書（レセプト）の点検，ジェネリック医薬品普及啓発等により，医療費の適正化を図る。																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	6本の柱（章）	01	第1章健康福祉都市をめざして								
今後の財政運営にも大きく影響する保健事業をどう推し進めていくかが課題である。ジェネリック医薬品については，国等においても普及促進に向けた取り組みが行われていることに加え，大手製薬会社の参入などもあり，普及が進んでいる。 同時に，昨今の社会情勢により就職・離職を繰り返す人が多い中で，誤って保険証を使ってしまう無資格診療が増加している。無資格診療についての知識普及が重要と思われる。						大項目（節）	03	第3節社会保険								
						中 項 目	01	1. 国民健康保険								
						小 項 目	01	(1)財政運営の健全化								
						細 項 目	02	②医療費（給付）の適正化								
					実施計画の計画事業											
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	被保険者，医療機関及び千葉県国民健康保険団体連合会を通じ，八千代市に請求された診療報酬明細書（レセプト）							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 保険者レセプト管理システム（電子レセプト）を使用したレセプト点検員による診療報酬明細書の内容点検及び市職員による資格点検等を実施した。ジェネリック医薬品の普及促進を図るため，「ジェネリック医薬品希望カード」を国保パンフレットに添付し，被保険者証更新時及び加入手続き時に交付した。また，国保連合会千葉支部でパンフレットを作製し，窓口で配布した。							
	※平成24年度に計画していること： 保険者レセプト照会システム（電子レセプト）を使用したレセプト点検員による診療報酬明細書の内容点検及び市職員による資格点検等を実施する。従来から実施しているジェネリック医薬品の啓発に加え，ジェネリック医薬品を使用した場合の調剤差額表示を記載した医療費通知の導入を検討する。また，柔道整復施術療養費について，多部位，長期又は頻度が高い施術患者に対して調査を実施し，適正受診の啓発を行う。							
意図 （何を狙っているのか）	診療報酬明細書（レセプト）の点検を行うとともに，医療費通知やジェネリック医薬品普及啓発により，医療費の適正化を図る。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分			単位	2 2 年度		2 3 年度		2 4 年度
				実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標 1	診療報酬明細書（レセプト）	枚	794,318	808,868	777,469	810,000	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	診療報酬明細書（レセプト）の点検数	枚	794,318	808,868	777,469	810,000	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	被保険者1人あたりの財政効果	円	2,393	2,395	2,668	2,670	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	9010	事務事業名称	医療費適正化特別対策事業				所属名	国保年金課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			新たな対策に取り組みながら、今後も継続して医療費の適正化に係る事務を効率的・効果的に実施していく。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			新たな対策への取組に伴い経費は増加するが、成果は向上する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
医療費の抑制になり，患者の負担軽減にもなるため，ジェネリック医薬品の普及啓発に力を入れてほしい。									

所属長コメント	平成23年秋に稼働した国保総合システムにより，継続してレセプト点検を行うとともにジェネリック医薬品の普及啓発等を通じた医療費の抑制と適正化を図る。また，国保資格の適正化に向けても啓発を図って行く。								
	評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			今後もレセプト点検及びジェネリック医療品の普及啓発に努めること。また，新たな医療費の適正化に向けた対策については，費用対効果を検証したうえで推進すること。				
		☒ 手法プロセスの改革・改善							
		☐ 事業規模の拡大・縮小							
		☐ 統合・役割見直し							
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									